

# 札幌医科大学医学部

## アセスメント・マップ

(令和8年度以降入学者適用カリキュラム)

**令和8年3月26日 医学部教授会了承**

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
医療倫理学	1.5	カリキュラム・マップ

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えてい難い患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

科目名	単位数	学修成果と評価方法
医療倫理学	1.5	カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ		① 評価形式ごとの評価割合 (%)		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)	
評価形式					
1 定期試験：筆記試験（記述式）	90	a	a	a	b
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）					
3 小テスト：筆記試験（記述式）					
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）					
5 口頭試験					
6 レポート					
7 成果発表					
8 質問紙法					
9 直接観察法（模型または実際の患者）					
10 OSCE					
11 監査（オーディット）					
12 ポートフォリオ					
13 自己評価					
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10			c	c
合計（100%）	100				
目標とする平均点	75点				
再試験の回数	1回				
授業形態	対面授業科目				

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
法学	1	カリキュラム・マップ

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与える影響及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者の立場を配慮して接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際的な視点に立つて実践する基礎的能力を身につけている。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。		
カリキュラム・マップ		c	B	C	B	A	B	E	E	E	E	E	E	E	E	A	E	E	E	E	E	E	E	E	E	B	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E					
アセスメント・マップ		②評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																									
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																											
評価形式	1 定期試験(筆記試験(記述式))	20	b																																								
	2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))	80	a	c	b	a	b									a											b																
	3 小テスト(筆記試験(記述式))																																										
	4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))																																										
	5 口頭試験																																										
	6 レポート																																										
	7 成果発表																																										
	8 質問紙法																																										
	9 直接観察法(模型または実際の患者)																																										
	10 OSCE																																										
	11 監査(オーディット)																																										
	12 ポートフォリオ																																										
	13 自己評価																																										
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																										
	合計(100%)	100																																									
	目標とする平均点		75点																																								
	再試験の回数		2回																																								
	授業形態		対面授業科目																																								



カリキュラム・マップ 区分		札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー																																						
凡例	高度 Advanced	S	I. プロフェッショナリズム II. 医学知識 III. 医療の実践 IV. 問題対応能力 V. コミュニケーション VI. 科学的探求 VII. 地域医療 VIII. 国際貢献																																					
	応用 Applied	A	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6		
	基礎 Basic	B	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6		
		C	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6		
		D	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6		
	E	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6			
科目名	単位数	学修成果と評価方法																																						
文学	1	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E		
		アセスメント・マップ																																						
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																						
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																						
		評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）																																				
			2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																				
			3	小テスト：筆記試験（記述式）																																				c
			4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																				
			5	口頭試験																																				
			6	レポート																																				
			7	成果発表																																				
			8	質問紙法																																				
			9	直接観察法（模型または実際の患者）																																				
			10	OSCE																																				
	11	監査（オーディット）																																						
	12	ポートフォリオ																																						
	13	自己評価																																						
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																				c		
		合計（100%）	100																																					
		目標とする平均点	75点																																					
		再試験の回数	1回																																					
		授業形態	対面授業科目																																					

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして権限的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 試験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 試験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

言語学	1	カリキュラム・マップ
-----	---	------------

		I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
E	E	E	C	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）														
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）														
3 小テスト：筆記試験（記述式）	60													
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）														
5 口頭試験														
6 レポート														
7 成果発表	30			a		a								
8 質問紙法														
9 直接観察法（模型または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10						b							
合計（100%）	100													

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
社会学	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1	定期試験：筆記試験（記述式）	
2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）	
3	小テスト：筆記試験（記述式）	
4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	100
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	
合計（100%）	100	
目標とする平均点	75点	
再試験の回数	2回	
授業形態	対面授業科目	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療倫理及び生命倫理の原則を説明できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に害及しない振る舞いをする。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病態・病機・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ、	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	問題を解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の指し導き及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他の指し導き及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	国際的な医療の発展に貢献する役割を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
E	E	E	A	C	E	E	B	E	E	C	E	E	E	E	E	E	B	B	E	E	E	E	B	B	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E			







札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンション

Table with 5 columns: I. プロフェッショナリズム, II. 医学知識, III. 医療の実践, IV. 問題対応能力, V. コミュニケーション, VI. 科学的探求, VII. 地域医療, VIII. 国際貢献. Each column contains numbered items (1-5) describing competencies.

カリキュラム・マップ 区分. Table with 5 rows (S, A, B, C, D, E) and 2 columns: 高度 Advanced, 応用 Applied. Describes learning objectives for each level.

科目名, 単位数, 学修成果と評価方法. Header for the curriculum map table.

基礎医学物理 1.5. Table with 15 rows (1-14) and 16 columns. Row 1: カリキュラム・マップ. Row 2: アセスメント・マップ. Row 3: ① 評価形式ごとの評価割合 (%). Row 4: ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目). Rows 5-14: Evaluation forms (1-14). Row 15: 合計 (100%).

Main evaluation grid table with 16 columns and 16 rows. Column 1: 評価形式. Columns 2-15: Evaluation items (a-c). Column 16: 合計 (100%). Row 16: 目標とする平均点, 再試験の回数, 授業形態.

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法		
基礎生化学	1.5	カリキュラム・マップ		
		アセスメント・マップ		
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)		
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)		
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	80	a a b c
		2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	20	a a b c
		3 小テスト：筆記試験（記述式）		
		4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）		
		5 口頭試験		
		6 レポート		
		7 成果発表		
		8 質問紙法		
		9 直接観察法（模型または実際の患者）		
		10 OSCE		
		11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ				
13 自己評価				
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載				
合計（100%）	100			
目標とする平均点	75点			
再試験の回数	1回			
授業形態	対面授業科目			

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医学倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の人体に説明に活用できる。	疾病の病態・病機・治療につなげる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4規範に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の推進を図ることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

基礎生命科学	2	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）	60	c
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	20	a b c c c
3 小テスト：筆記試験（記述式）	10	c
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）	10	a b c c c
5 口頭試験		
6 レポート		
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	
目標とする平均点	75点	
再試験の回数	1回または2回	
授業形態	対面授業科目	

		I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																												
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																																									
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	1	災害時の医療について説明できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者への配慮を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	地域医療の発展に貢献する国際協力への役割を説明できる。	4	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	1	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	2	地域における医療専門職の役割を理解し、協働して医療を実践することができる。	3	グローバル・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	国際貢献の重要性を説明できる。	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、チューレントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
放射線物理学	1	カリキュラム・マップ

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与える影響及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	病歴に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決を説明できる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決を説明できる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決を説明できる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決を説明できる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決を説明できる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決を説明できる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決を説明できる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決を説明できる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。						
放射線物理学		1	カリキュラム・マップ																																								
			アセスメント・マップ																																								
			① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																								
			② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																								
評価形式	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5							
1	定期試験(筆記試験(記述式))	100																																									
2	定期試験(筆記試験(多岐選択式))																																										
3	小テスト(筆記試験(記述式))																																										
4	小テスト(筆記試験(多岐選択式))																																										
5	口頭試験																																										
6	レポート																																										
7	成果発表																																										
8	質問紙法																																										
9	直接観察法(模型または実際の患者)																																										
10	OSCE																																										
11	監査(オーディット)																																										
12	ポートフォリオ																																										
13	自己評価																																										
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																										
	合計(100%)	100																																									
	目標とする平均点		80点																																								
	再試験の回数		1回																																								
	授業形態		対面授業科目																																								

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求			VII. 地域医療			VIII. 国際貢献										
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3	4	5							
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与える害及び患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けていく。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決を説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の意見を傾聴して接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいて説明できる。	5 周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際的な医療の役割を説明できる。	3 国際的な医療の発展に貢献できる。	4 国際的な医療の発展に貢献できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。				

カリキュラム・マップ 区分		修得レベル	説明
高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである	
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、ステューデントドクターとして積極的に関与、行動できる	
基礎 Basic	B	医学士として臨床実習を開始するための能力を修得している	
	C	医学士として基礎となる能力を修得している	
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない	
	E	経験・修得する機会がない	

科目名	単位数	学修成果と評価方法	②評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																													
			E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E					
生命科学	2	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E					
		アセスメント・マップ																														
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)																														
		評価形式																														
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	50																						a	c	c					
		2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	30																									a	c	c		
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	5																										b	c	c	
		4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）	15																											b	c	c
		5 口頭試験																														
		6 レポート																														
		7 成果発表																														
		8 質問紙法																														
		9 直接観察法（模型または実際の患者）																														
		10 OSCE																														
11 監査（オーディット）																																
12 ポートフォリオ																																
13 自己評価																																
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																
合計（100%）	100																															
目標とする平均点		75点																														
再試験の回数		1回																														
授業形態		対面授業科目																														

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

I. プロフェSSIONALISM						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション					VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献										
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に応用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に害を与えない。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題を解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と評価を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の視点を顧みることができ。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際活動に関与し、国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。					

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学士として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学士として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
自然科学実験	1	カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
1 定期試験：筆記試験（記述式）															
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）															
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法（模写または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
合計（100%）	100														

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、ステューデントドクターとして規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学士として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学士として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
医学英語1	2	カリキュラム・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
評価形式		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
1 定期試験:筆記試験(記述式)	25	
2 定期試験:筆記試験(多肢選択式)		
3 小テスト:筆記試験(記述式)		
4 小テスト:筆記試験(多肢選択式)	25	
5 口頭試験		
6 レポート	25	
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法(構型または実際の患者)		
10 OSCE		
11 監音(オーディット)		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載(出席)	25	
合計(100%)	100	
目標とする平均点		
再試験の回数		
授業形態		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー																																																											
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献																	
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6												
E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

全科目チェック集計用		
a	b	c
+	=	++
0	0	5
0	0	0
0	0	0
0	0	5
0	0	0
0	0	0
0	0	0
0	0	0
0	0	5
0	0	5



札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 試験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 試験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

ドイツ語	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1	定期試験：筆記試験（記述式）	60
2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）	
3	小テスト：筆記試験（記述式）	20
4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20 (専攻授業時数)
	合計（100%）	100
	目標とする平均点	75点
	再試験の回数	1回
	授業形態	対面授業科目

		I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	
カリキュラム・マップ																																														
アセスメント・マップ																																														
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																														
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																														
評価形式																																														
1	定期試験：筆記試験（記述式）	60																																												
2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）																																													
3	小テスト：筆記試験（記述式）	20																																												
4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）																																													
5	口頭試験																																													
6	レポート																																													
7	成果発表																																													
8	質問紙法																																													
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																													
10	OSCE																																													
11	監査（オーディット）																																													
12	ポートフォリオ																																													
13	自己評価																																													
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20 (専攻授業時数)																																												
	合計（100%）	100																																												
	目標とする平均点	75点																																												
	再試験の回数	1回																																												
	授業形態	対面授業科目																																												

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
フランス語	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
評価形式		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
1	定期試験：筆記試験（記述式）	80
2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）	
3	小テスト：筆記試験（記述式）	
4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20 (授業態度)
	合計（100%）	100
	目標とする平均点	75点
	再試験の回数	1回
	授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																													
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求			VII. 地域医療			VIII. 国際貢献															
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5										
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	災害時の医療について説明できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決と探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者への敬意を払って接することができる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	科学的知見を擁護するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	医学的知見を新規性を含められていることを理解し説明できる。	地域の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	地域社会における地域医療の位置付けについて説明できる。	社会経済における地域医療の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協働して医療を実践することができる。	グローバル・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	国際的な視点に立つて実践する基礎的能力を身に付けていく。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。					

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、チュードントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 試験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 試験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
ロシア語	1	カリキュラム・マップ アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
評価形式		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
1	定期試験：筆記試験（記述式）	60
2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）	
3	小テスト：筆記試験（記述式）	10
4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	30 (授業態度、出席)
合計 (100%)		100
目標とする平均点		75点
再試験の回数		1回
授業形態		対面授業科目

	I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献					
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる	医師の法的責任及び各種規範について説明できる	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる	5 医療安全、感染症対策を実践できる	6 災害時の医療について説明できる	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる	5 問題解決と題解決能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる	5 患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理についての説明ができる	5 周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる	4 療活動に活用できる	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる



札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、チュードントドクターとして権限的に関与、行動できる
基盤 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基盤となる能力を修得している
	D 試験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 試験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

情報科学	2	カリキュラム・マップ
------	---	------------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献						
1 医療倫理に関する	2 法的規範の根拠を	3 生及死に関わる倫理	4 人の命及び健康を守る	5 医師の法的責任及び	6 人間の尊厳及び患者の	1 医学の基礎となる自然	2 基礎医学、臨床医学、	3 人体の正常構造や機能	4 疾病の病因・病態・治	5 医学の進歩と発展のた	1 病歴を正しく聴取し、	2 臨床情報を整理して臨	3 医療安全、感染症対策	4 問題の解決に向けて、	5 最新の情報を探求し、	1 科学的探求の意欲と基	2 科学的探求の意欲と基	3 科学的探求の意欲と基	4 科学的探求の意欲と基	5 科学的探求の意欲と基
E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験(筆記試験(記述式))	100														100
2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))															
3 テスト(筆記試験(記述式))															
4 テスト(筆記試験(多岐選択式))															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法(模型または実際の患者)															
10 OSCE															
11 監査(オーディット)															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載															

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
先陣医学セミナー	2.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1	定期試験：筆記試験（記述式）	
2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）	
3	小テスト：筆記試験（記述式）	
4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	100
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	
合計（100%）	100	
目標とする平均点	75点	
再試験の回数	1回	
授業形態	対面授業科目	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献																										
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																									
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えてい難い患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けていく。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	1 災害時の医療について説明できる。	2 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の意見を尊重して接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際的な医療の発展に貢献する役割を説明できる。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
初年次セミナー	1.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	50	
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ	30	b
13 自己評価	20	
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	
目標とする平均点		80点
再試験の回数		1回
授業形態		対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献																											
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																										
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																										
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えてい難く及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要である。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他の人々の価値観と接することができる。	5 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2 科学的探求を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際的な医療の動向や活動の視座に立つて実践する基礎的能力を身に付けていく。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学概論・医療総論1	0.5	カリキュラム・マップ
------------	-----	------------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えている影響及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の指し方及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の意見を尊重して接することができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	医学の発展に新機軸が生まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	国際的な健康増進及び疾病予防の活動に立ち上げ実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）														
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）														
3 小テスト：筆記試験（記述式）														
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）														
5 口頭試験														
6 レポート	75	a	a	b	c	b	c							
7 成果発表	15	a	b	b	c	b	c							
8 質問紙法														
9 直接観察法（模型または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載														a
合計（100%）	100													

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回 再評価の機会は設ける
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献												
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5										
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に害を及ぼさない振る舞いをする。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、人体の正常構造や機能を説明できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の促進を図ることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の健康を損なう接することができ。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際的な視点に立つて実践する基礎的能力を身につけている。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。										

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
地域医療合同セミナー	1	カリキュラム・マップ

c	d	d	c	d	c	e	e	e	d	d	d	d	e	d	d	d	d	d	e	d	b	c	b	d	c	d	e	e	e	e	c	d	d	c	d	d	d	e	e	d
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験(筆記試験(記述式))														
2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))														
3 小テスト(筆記試験(記述式))														
4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))														
5 口頭試験														
6 レポート	60	a					c							
7 成果発表	20	a					c							
8 質問紙法														
9 直接観察法(模型または実際の患者)														
10 OSCE														
11 監査(オーディット)														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他(評価形式が「その他」の場合、内容を記載)	20	b					c							
合計(100%)	100													

目標とする平均点	85点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
医療行動科学1	1.5	カリキュラム・マップ

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えてい難い患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けることができる。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の理解を促すことができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際活動に関与し、国際的視野に立つて実践する基礎的能力を身につけている。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

カリキュラム・マップ	D	E	D	D	E	B	C	C	C	B	D	E	E	E	E	E	D	E	D	D	D	D	C	C	B	D	D	D	D	E	B	E	D	E	C	B	B	D	B	D
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)      ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)	
1 定期試験：筆記試験（記述式）																
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）																
3 小テスト：筆記試験（記述式）																
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）																
5 口頭試験																
6 レポート	90															
7 成果発表																
8 質問紙法																
9 直接観察法（模型または実際の患者）																
10 OSCE																
11 監査（オーディット）																
12 ポートフォリオ																
13 自己評価																
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																10(受講態度等)
合計 (100%)	100															

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法		
死生学	1	カリキュラム・マップ		
		アセスメント・マップ		
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)		
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)		
		1 定期試験(筆記試験(記述式))	100	a a b a
		2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))		
		3 小テスト(筆記試験(記述式))		
		4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))		
		5 口頭試験		
		6 レポート		
		7 成果発表		
		8 質問紙法		
		9 直接観察法(模型または実際の患者)		
		10 OSCE		
11 監査(オーディット)				
12 ポートフォリオ				
13 自己評価				
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載				
合計(100%)	100			
目標とする平均点	75点			
再試験の回数	1回			
授業形態	対面授業科目			

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献						
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えてい難い患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	4病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	5病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	6災害時の医療について説明できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	6根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	7根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	8根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	9根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	10根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	11根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	12根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	13根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	14根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	15根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	16根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	17根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	18根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	19根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	20根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	21根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	22根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	23根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	24根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	25根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	26根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	27根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	28根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	29根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	30根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

肉眼解剖学	2.5	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		1 定期試験(筆記試験(記述式))	70
		2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))	30
		3 小テスト(筆記試験(記述式))	
		4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法(模型または実際の患者)	
		10 OSCE	
11 監査(オーディット)			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計(100%)	100		
目標とする平均点	75点		
再試験の回数	1回		
授業形態	対面授業科目		

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献																											
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																										
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えてい難い患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けていく。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の立場を顧みながら接することができる。	5 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4 医学的知見を新規範に含められていることを理解し説明できる。	5 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1 地域社会における地域医療の位置付けについて説明できる。	2 社会経済における地域医療の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際的な医療の発展に貢献する役割を説明できる。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。



カリキュラム・マップ 区分		
高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、ステューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B	医学士として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学士として基礎となる能力を修得している
	D	試験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	試験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
分子生物学1	1	<b>カリキュラム・マップ</b> <b>アセスメント・マップ</b> ① 評価形式ごとの評価割合 (%) ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1	定期試験：筆記試験（記述式）	40
2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）	60
3	小テスト：筆記試験（記述式）	
4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	
合計 (100%)		100
目標とする平均点		75点
再試験の回数		1回
授業形態		対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンツ・コンピテンシー																																							
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療倫理及び生命科学の原則を説明し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ、病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題を解決に向けて、関連する情報を収集して分析することができる。	3最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと理解し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の指し渡り及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	3患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者のために接することができ、患者のニーズを把握し、適切な指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4指し渡り及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の指し渡り及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいて説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3ブライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 試験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 試験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
免疫学	2	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）
	2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）
	3	小テスト：筆記試験（記述式）
	4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）
	5	口頭試験
	6	レポート
	7	成果発表
	8	質問紙法
	9	直接観察法（模型または実際の患者）
	10	OSCE
	11	監査（オーディット）
	12	ポートフォリオ
	13	自己評価
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載
		合計（100%）
		目標とする平均点
		再試験の回数
		授業形態

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																										
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践				IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション			VI. 科学的探求			VII. 地域医療			VIII. 国際貢献														
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5							
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	5 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	3 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4 医学的知見を説明するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際交流に積極的な役割を担うことができる。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 国際活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 試験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 試験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

免疫学実習	0.5	カリキュラム・マップ
-------	-----	------------

		I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
	カリキュラム・マップ	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E					
	アセスメント・マップ																																								
	① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																								
	② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																								
評価形式	1 定期試験：筆記試験（記述式）																																								
	2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）																																								
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																																								
	4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）																																								
	5 口頭試験																																								
	6 レポート	80																																							
	7 成果発表																																								
	8 質問紙法																																								
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																																								
	10 OSCE																																								
	11 監査（オーディット）																																								
	12 ポートフォリオ																																								
	13 自己評価																																								
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20																																							
	合計（100%）	100																																							
	目標とする平均点	75点																																							
	再試験の回数	1回																																							
	授業形態	対面授業科目																																							

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
社会医学入門	1	カリキュラム・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	100	a a a a a a a a a a a
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載（出席）		
合計（100%）	100	
目標とする平均点		80点
再試験の回数		1回
授業形態		対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に善く接し、患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の意見を尊重し、接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に関する知識を説明できる。	5個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。







札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
専門職キャリア形成論	1	カリキュラム・マップ

		I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
E	E	E	E	E	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	D	E	D	C	D	C	D	E	E	E	E	E	E	D	E	E	E	E	D	C	E	E	E	D	E	D	E	E
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																													
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																													
評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39						
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																												
2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）																																												
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																												
4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）																																												
5	口頭試験																																												
6	レポート	100																																											
7	成果発表																																												
8	質問紙法																																												
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																												
10	OSCE																																												
11	監査（オーディット）																																												
12	ポートフォリオ																																												
13	自己評価																																												
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載（出席）																																												
	合計（100%）	100																																											
	目標とする平均点																																												
	再試験の回数																																												
	授業形態																																												

目標とする平均点	85点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目





札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学英語2	0.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）	30	
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）	25	
5 口頭試験		
6 レポート		
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	45 (授業態度)	
合計（100%）	100	
目標とする平均点	75点	
再試験の回数	1回	
授業形態	対面授業科目	

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与える影響及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の促進を図ることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の立場を配慮して接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際的な視点に立つて実践する基礎的な能力を身につけている。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
肉眼解剖学実習	3	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	20
		4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）	
		5 口頭試験	70
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10 実習態度		
合計（100%）	100		
目標とする平均点	75点		
再試験の回数	1回		
授業形態	対面授業科目		

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与える影響及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4病歴に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者の立場を配慮して接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際的な医療の発展に貢献する役割を説明できる。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6								
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に誇り、患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4根拠に基づいた医療技術や薬物の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と課題解決能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人に敬意を払って接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	3国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	4国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	1国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	2国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	3国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	4国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。				

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 試験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 試験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
細細・組織学	3	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
評価形式		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
1	定期試験：筆記試験（記述式）	30
2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）	60
3	小テスト：筆記試験（記述式）	
4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 特別講義課題などを加味した総合的判断とする	10
	合計（100%）	100
	目標とする平均点	70点
	再試験の回数	1回
	授業形態	対面授業科目



札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 試験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 試験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

組織学・総実習	2.5	カリキュラム・マップ
---------	-----	------------

		I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
c	d	d	d	d	d	b	b	c	b	c	d	e	e	e	e	e	e	e	e	e	d	c	b	c	c	e	e	e	e	e	e	e	e	e	e	e	e	e	e	e						
アセスメント・マップ																																														
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																														
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																														
評価形式																																														
1	定期試験：筆記試験（記述式）	60						a	b	a	b																																			
2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）	10						a	b	a	b																																			
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																													
4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）																																													
5	口頭試験																																													
6	レポート																																													
7	成果発表																																													
8	質問紙法																																													
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																													
10	OSCE																																													
11	監査（オーディット）																																													
12	ポートフォリオ																																													
13	自己評価																																													
14	その他 スケッチブック 評点との総合判定とする	30	c	c	c	c	c	b	a	a	a	a	a																																	
合計（100%）		100																																												
目標とする平均点		70点																																												
再試験の回数		1回																																												
授業形態		対面授業科目																																												

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

細胞・器管生理学	4	カリキュラム・マップ
----------	---	------------

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
D	E	D	D	E	E	C	B	B	D	E	E	D	E	E	E	E	E	B	B	B	B	D	E	E	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		<p>① 評価形式ごとの評価割合 (%)</p> <table border="1"> <tr> <th>評価形式</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th> </tr> <tr> <td>1 定期試験(筆記試験(記述式))</td> <td>50</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>a</td><td>a</td><td>a</td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>c</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))</td> <td>50</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>a</td><td>a</td><td>a</td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>3 小テスト(筆記試験(記述式))</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>5 口頭試験</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>6 レポート</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>7 成果発表</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>8 質問紙法</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>9 直接観察法(模型または実際の患者)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>10 OSCE</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>11 監査(オーディット)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>12 ポートフォリオ</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>13 自己評価</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>合計(100%)</td> <td>100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>																								評価形式	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1 定期試験(筆記試験(記述式))	50						a	a	a																	c	c	c	c															2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))	50						a	a	a																																			3 小テスト(筆記試験(記述式))																																												4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))																																												5 口頭試験																																												6 レポート																																												7 成果発表																																												8 質問紙法																																												9 直接観察法(模型または実際の患者)																																												10 OSCE																																												11 監査(オーディット)																																												12 ポートフォリオ																																												13 自己評価																																												14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																												合計(100%)	100																																										
評価形式	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1 定期試験(筆記試験(記述式))	50						a	a	a																	c	c	c	c																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))	50						a	a	a																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
3 小テスト(筆記試験(記述式))																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
5 口頭試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
6 レポート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
7 成果発表																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
8 質問紙法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
9 直接観察法(模型または実際の患者)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
10 OSCE																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
11 監査(オーディット)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
12 ポートフォリオ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
13 自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
合計(100%)	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

目標とする平均点	70点
再試験の回数	2回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、ステューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科 目 名	単 位 数	学 修 成 果 と 評 価 方 法
-------------	-------------	---

神経生理学	2.5	カリキュラム・マップ
-------	-----	------------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
E	E	E	E	E	E	B	B	B	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E					

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)      ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）	10														
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90														
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法（模擬または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
合計 (100%)	100														

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

生化学	2.5	カリキュラム・マップ			
		アセスメント・マップ			
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)			
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)			
		評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）	45
			2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）	45
			3	小テスト：筆記試験（記述式）	5
			4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）	
			5	口頭試験	
			6	レポート	
			7	成果発表	
			8	質問紙法	
			9	直接観察法（模型または実際の患者）	
			10	OSCE	
	11	監査（オーディット）			
	12	ポートフォリオ			
	13	自己評価			
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5 学習態度		
		合計（100%）	100		

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献										
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5							
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決を説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3社会経済における地域医療の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際交流の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	3地域における医療専門職の役割を理解し、協働して医療を実践することができる。	4グローバル・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	6疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。
E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

分子生物学2	1	カリキュラム・マップ
	アセスメント・マップ	
	① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
	評価形式	
	1 定期試験：筆記試験（記述式）	50
	2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	50
	3 小テスト：筆記試験（記述式）	
	4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）	
	5 口頭試験	
	6 レポート	
	7 成果発表	
	8 質問紙法	
	9 直接観察法（模型または実際の患者）	
	10 OSCE	
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	
目標とする平均点	80点	
再試験の回数	1回	
授業形態	対面授業科目	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献																											
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																										
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与える影響及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ、	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の意見を尊重して接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際的な健康増進及び疾病予防の活動に立つて実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

薬理学	3	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）	90	
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）		a a a
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート		
7 成果発表	10	a a a c c b b b
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	
目標とする平均点		75点
再試験の回数		1回
授業形態		対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療				VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に害を及ぼさない。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態に説明できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4根拠に基づいた医療技術や治療技術を用いた状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決を説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の尊厳を損ねないよう接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に関する知識を説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際的な医療の発展に貢献するための役割を説明できる。	3国際的な医療の発展に貢献するための役割を説明できる。	4国際的な医療の発展に貢献するための役割を説明できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。



札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献											
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えてい難い患者の立場を尊重し思いやりのある態度を身に付ける。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1抽出できる医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決を説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者への配慮を払って接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的探求に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいて説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際交流に積極的な態度を示し、国際的視野に立つて実践する基礎的知識を身に付けている。	3国際貢献に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。					

カリキュラム・マップ 区分

高度 Advanced	S	初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	O	医学生として基礎となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

生化学実習	0.5	カリキュラム・マップ
-------	-----	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
1 定期試験(筆記試験(記述式))								
2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))								
3 小テスト(筆記試験(記述式))								
4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))								
5 口頭試験								
6 レポート	80							
7 成果発表								
8 質問紙法								
9 直接観察法(模型または実際の患者)								
10 OSCE								
11 監査(オーディット)								
12 ポートフォリオ								
13 自己評価								
14 その他(評価形式が「その他」の場合、内容を記載)	20							
合計(100%)	100							

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目



札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学士として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学士として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
病理学2	2.5	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験(筆記試験(記述式))	20
		2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))	50
		3 小テスト(筆記試験(記述式))	5
		4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))	
		5 口頭試験	
		6 レポート	15
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法(模型または実際の患者)	
10 OSCE			
11 監査(オーディット)			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10		
合計(100%)	100		
目標とする平均点	70点		
再試験の回数	1回		
授業形態	対面授業科目		

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献													
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
D	D	D	D	D	C	B	B	B	B	B	E	E	D	E	E	C	C	B	B	C	E	E	E	E	E	B	B	B	B	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	D	D	



札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、チュードントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
基礎腫瘍学	1	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験(筆記試験(記述式))	20
		2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))	60
		3 小テスト(筆記試験(記述式))	
		4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))	
		5 口頭試験	
		6 レポート	20
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法(模型または実際の患者)	
10 OSCE			
11 監査(オーディット)			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計(100%)	100		
目標とする平均点	75点		
再試験の回数	1回		
授業形態	対面授業科目		

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6		
D	D	D	D	D	D	B	C	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	B	B	B	B	C	E	E	E	E	E	E	E	C	E	D	D				

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
微生物学実習	0.5	カリキュラム・マップ

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献																															
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																														
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ、2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決及び課題を説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の立場を配慮して接することができる。	5先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2科学的探求に基づいた探究心を身につけている。	3医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を説明するための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいた探究心を身につけている。	5医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	3地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	3地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	5地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	1国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	2国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	3国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	4国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

評価形式	②評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)															
	1 定期試験(筆記試験(記述式))															
2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))																
3 小テスト(筆記試験(記述式))																
4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))																
5 口頭試験																
6 レポート	60			a	a	b	b	b	c	b	c	b	a	c	c	c
7 成果発表																
8 質問紙法																
9 直接観察法(模型または実際の患者)																
10 OSCE																
11 監査(オーディット)																
12 ポートフォリオ																
13 自己評価																
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載	40		c	c					b		b		b	b		
合計(100%)	100															
目標とする平均点	80点															
再試験の回数	0回															
授業形態	対面授業科目															

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、シミュレーション・データとして規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学概論・医療総論3	0.5	カリキュラム・マップ
------------	-----	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験：筆記試験 (記述式)															
2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)															
3 小テスト：筆記試験 (記述式)															
4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)															
5 口頭試験															
6 レポート	30	c	c	c	c	c									
7 成果発表	20														
8 質問紙法															
9 直接観察法 (模型または実際の患者)	40			b		a									
10 OSCE															
11 監査 (オーティット)															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 (事前提出課題、実習記録)	10					c									
合計 (100%)	100														

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	看人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	解明に活用できる。	生命科学に関する基礎知識を疾患病態の理解に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	1 出でる	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人数の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者への配慮を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 フロイマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に際する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に対応できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動に国際的視野に立つて実践する基礎となる。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。			
c	c	c	c	c	c	B	D	D	D	D	C	D	D	E	E	D	E	D	C	C	D	C	B	C	B	C	C	E	E	E	E	E	C	D	D	B	C	E	D	E	D	E		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

地域医療 合同セミナー③	1	カリキュラム・マップ
-----------------	---	------------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に害を及ぼさない振る舞いをする。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、人体の正常機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態に活用できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要である。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	5指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験(筆記試験(記述式))														
2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))														
3 小テスト(筆記試験(記述式))	5													
4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))	5													
5 口頭試験														
6 レポート	40	c	c	c	c	c	c	c						
7 成果発表	30													
8 質問紙法														
9 直接観察法(模型または実際の患者)	10								b					
10 OSCE														
11 監査(オーディット)														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価	10													
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載														
合計(100%)	100													

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医療行動科学2	1	カリキュラム・マップ
アセスメント・マップ		
① 評価形式ごとの評価割合 (%)		
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)		
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	100	a a a a a a a a a a a a
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に害及を及ぼさない振る舞いをする。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要である。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の指針力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他の指針力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し、医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際医療の実践に配慮できる。	3 国際医療の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	4 国際医療の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 国際医療の役割を理解し、協調して医療を実践できる。

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
医療統計学1	1	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験 (記述式)	
		2 定期試験：筆記試験 (多岐選択式)	
		3 小テスト：筆記試験 (記述式)	25
		4 小テスト：筆記試験 (多岐選択式)	
		5 口頭試験	
		6 レポート	75
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法 (模型または実際の患者)	
10 OSCE			
11 監査 (オーディット)			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計 (100%)	100		

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献																																								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																																							
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。		医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ、	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	問題を解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要である。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人に配慮を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	医学の発展に貢献するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	ブライマリー・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	ブライマリー・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	ブライマリー・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。

目標とする平均点	75点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、シミュレーション・ランドスケープとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
遺伝医学	1	カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	割合 (%)	コンピテンズ・コンピテンシー																											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
1 定期試験：筆記試験（記述式）	80	a	a		a		a		b	b																			
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）																													
3 小テスト：筆記試験（記述式）																													
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																													
5 口頭試験																													
6 レポート	10		b		c		c	c	c	c																			
7 成果発表	10	c		a	a		a																						
8 質問紙法																													
9 直接観察法（模型または実際の患者）																													
10 OSCE																													
11 監査（オーティット）																													
12 ポートフォリオ																													
13 自己評価																													
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																													
合計 (100%)	100																												

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																									
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション			VI. 科学的探求			VII. 地域医療			VIII. 国際貢献										
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3						
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
医学倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	着人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	解明に活用できる。	生命科学に関する基礎知識を疾患病態の理解に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的必要性を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	医療安全、感染症対策を実践できる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	指導力及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験 シミュレーションソフト データとして積極的に関 与し、行動できる
基礎 Basic	B 医学学生として臨床実習を 開始するための能力を修 得している
	C 医学学生として基礎となる 能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、 単位認定には関係して いない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
病理学実習	2	カリキュラム・マップ

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献													
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	看入時の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	解明に活用できる。	生命科学に関する基礎知識を疾患病態の理解に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	根拠に基づいた医療技術を用いた状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知識を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	6 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1 地域社会における地域医療の位置づけについて説明できる。	2 社会経済における地域医療の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	3 フロイマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する必要性を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立つて実践する基礎的知識を身に付けている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学・疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。			
E	E	E	E	E	E	B	B	B	B	B	B	E	E	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

① 評価形式ごとの評価割合 (%)			② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)					
評価形式	割合 (%)	比重	1	2	3	1	2	3
1 定期試験：筆記試験 (記述式)	10	a	a	a	b	a	c	b
2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)	10	a	a	a	b	a	c	b
3 小テスト：筆記試験 (記述式)	5	a	a	a	b	a	c	b
4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)	5	a	a	a	b	a	c	b
5 口頭試験								
6 レポート	60	a	a	a	b	a	c	a
7 成果発表								
8 質問紙法								
9 直接観察法 (模型または実際の患者)								
10 OSCE								
11 監査 (オーディット)								
12 ポートフォリオ								
13 自己評価								
14 その他 実習態度、コミュニケーション、身なり等を観察評価	10	b	a			a	a	
合計 (100%)	100							

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
医療安全管理学	1	カリキュラム・マップ

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6						
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる	B	B	C	C	B	C	E	D	E	D	D	C	C	C	B	B	E	D	D	D	D	B	C	E	B	B	E	D	C	D	C	D	D	E	E	D	E	E	E	E	E							
アセスメント・マップ		②評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																															
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																																	
評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	目標とする平均点	再試験の回数	授業形態																															
1	定期試験(筆記試験(記述式))															100	80点	1回	対面授業科目																														
2	定期試験(筆記試験(多岐選択式))	90	a			b																																											
3	小テスト(筆記試験(記述式))	10				b																																											
4	小テスト(筆記試験(多岐選択式))																																																
5	口頭試験																																																
6	レポート																																																
7	成果発表																																																
8	質問紙法																																																
9	直接観察法(模型または実際の患者)																																																
10	OSCE																																																
11	監査(オーディット)																																																
12	ポートフォリオ																																																
13	自己評価																																																
14	その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																
合計(100%)		100																																															



カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 試験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 試験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

臨床検査医学	1	カリキュラム・マップ
--------	---	------------

		札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション																																								
		I. プロフェSSIONアリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献					
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
		1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 ある解決及び課題を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 患者に敬意を払って接することができる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に配慮し、患者のニーズに合わせた診療や保健指導の基礎を実践できる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協働して医療を実践することができる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際的な健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
		アセスメント・マップ																																								
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)					② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																			
	評価形式	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	1 定期試験：筆記試験（記述式）																																									
	2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	90							a							a																										
	3 小テスト：筆記試験（記述式）																																									
	4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）																																									
	5 口頭試験																																									
	6 レポート																																									
	7 成果発表																																									
	8 質問紙法																																									
	9 直接観察法（模型または実際の患者）																																									
	10 OSCE																																									
	11 監査（オーディット）																																									
	12 ポートフォリオ																																									
	13 自己評価																																									
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10																																								
	合計（100%）	100																																								
	目標とする平均点	80点																																								
	再試験の回数	1回																																								
	授業形態	対面授業科目																																								

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分
高度 Advanced
応用 Applied
基礎 Basic
凡例

科目名 単位数 学修成果と評価方法

内分泌学 1.5

Table with 5 columns (I-V) and 5 rows (1-5) containing detailed descriptions of competencies such as '1. Professionalism', '2. Medical Knowledge', etc.

カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%) ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

Large grid table showing evaluation forms (e.g., 1. 定期試験:筆記試験) and their corresponding weights (a, b, c) across the curriculum.

Summary statistics table: 目標とする平均点 (70点), 再試験の回数 (1回), 授業形態 (対面授業科目)

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、チュードントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

総合診療入門	1	カリキュラム・マップ
--------	---	------------

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5											
		医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決を説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の指し導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	3医療に努めることのできる。	4患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の価値観を尊重して接することができる。	5指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいて説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際的な医療の発展に貢献する役割を説明できる。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。								
		c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c							
		<b>アセスメント・マップ</b> ① 評価形式ごとの評価割合 (%)      ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																															
	評価形式	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5											
	1 定期試験(筆記試験(記述式))	100	b	b	b	b	b	a	a	c	c	c	a	a	a			a	a	c	c	c	c	c	c	c	c	c						a	a	a	a	a											
	2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))																																																
	3 小テスト(筆記試験(記述式))																																																
	4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))																																																
	5 口頭試験																																																
	6 レポート																																																
	7 成果発表																																																
	8 質問紙法																																																
	9 直接観察法(模倣型または実際の患者)																																																
	10 OSCE																																																
	11 監査(オーディット)																																																
	12 ポートフォリオ																																																
	13 自己評価																																																
	14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																
	合計(100%)	100																																															
	目標とする平均点	80点																																															
	再試験の回数	1回																																															
	授業形態	対面授業科目																																															

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、チューラントワークとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

血液病学	1	カリキュラム・マップ
------	---	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験：筆記試験 (記述式)															
2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)	100														
3 小テスト：筆記試験 (記述式)															
4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法 (模型または実際の患者)															
10 OSCE															
11 監査 (オーディット)															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
合計 (100%)	100														

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	看人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	解明に活用できる。	生命科学に関する基礎知識を疾患病態の理解に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	医療安全、感染症対策を実践できる。	根拠に基づいた医療技術を用いた状況に応じて正しく実践できる。	問題解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	指導力及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的知見を導くための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	地域社会における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動に国際的視野に立つて実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	
c	c	b	b	c	c	b	b	b	b	b	c	c	c	c	d	d	e	c	c	c	d	d	e	e	e	c	c	e	d	d	e	c						





カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
呼吸器病学	1.5	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)	
		1 定期試験(筆記試験(記述式))	
		2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))	90
		3 小テスト(筆記試験(記述式))	
		4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法(模型または実際の患者)	
		10 OSCE	
11 監査(オーディット)			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10		
合計(100%)	100		

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー																																									
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践				IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション			VI. 科学的探求			VII. 地域医療			VIII. 国際貢献													
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えていぬる。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることのできる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他の人々の意見を尊重して接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	ブライマリー・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際的な視点から医療の発展に貢献できる。	3 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	C	C	C	C	D	E	E	E	E	D	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、シミュレーション・ランドスケープとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

腎・泌尿器科学	2	カリキュラム・マップ
---------	---	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験：筆記試験 (記述式)															
2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)		90													
3 小テスト：筆記試験 (記述式)															
4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法 (模型または実際の患者)															
10 OSCE															
11 監査 (オーディット)															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															10
合計 (100%)															100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献													
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	看入時の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を用いた状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に配慮が払われることができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知識を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	6 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1 地域社会における地域医療の位置付けについて説明できる。	2 社会経済における地域医療の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	3 フロイマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する必要性を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立つて実践する基礎的知識を身に付けている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学・疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な問題を説明できる。			
D	D	D	D	D	D	B	B	B	B	B	B	C	C	C	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E

目標とする平均点	75点
再試験の回数	2回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、チューラントワークとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

神経内科学	1	カリキュラム・マップ
-------	---	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5
1 定期試験：筆記試験（記述式）					
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	95				
3 小テスト：筆記試験（記述式）					
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）					
5 口頭試験					
6 レポート					
7 成果発表					
8 質問紙法					
9 直接観察法（模型または実際の患者）					
10 OSCE					
11 監査（オーディット）					
12 ポートフォリオ					
13 自己評価					
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5				
合計（100%）	100				

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献							
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
医学倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	看人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	解明に活用できる。	生命科学に関する基礎知識を疾患病態の理解に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	医療安全、感染症対策を実践できる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができ。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	指導力及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動に国際的視野に立つて実践する基礎となる能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。				
c	d	c	c	d	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、シミュレーション・ランドスケープとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
循環器病学	2.5	カリキュラム・マップ

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	看入時の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を用いた状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に配慮が払われることができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的知識を修得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に配慮できる。	地域医療における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的知識を身に付けている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	活動に活用できる。	疫学・疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な問題を説明できる。
D	D	D	D	D	D	B	B	B	B	B	B	C	C	C	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)      ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験：筆記試験 (記述式)															
2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)	100														100
3 小テスト：筆記試験 (記述式)															
4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法 (模型または実際の患者)															
10 OSCE															
11 監査 (オーディット)															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目



札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、シミュレーション・データとして規範的に関与し、行動できる
基礎 Basic	B 医学学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法

放射線医学	1	カリキュラム・マップ
-------	---	------------

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6								
c	e	e	d	e	d	b	b	d	b	d	d	d	d	b	b	d	e	d	d	b	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d		
アセスメント・マップ																																																	
① 評価形式ごとの評価割合 (%)		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																															
評価形式	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6								
1 定期試験：筆記試験（記述式）	5					a	a			a		a	a																																				
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	90	a																a	a																														
3 小テスト：筆記試験（記述式）																																																	
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																	
5 口頭試験																																																	
6 レポート																																																	
7 成果発表																																																	
8 質問紙法																																																	
9 直接観察法（模型または実際の患者）																																																	
10 OSCE																																																	
11 監査（オーディット）																																																	
12 ポートフォリオ																																																	
13 自己評価																																																	
14 その他（授業態度、発表内容等）	5	a																a	a																														
合計 (100%)	100																																																
目標とする平均点		75点																																															
再試験の回数		1回																																															
授業形態		対面授業科目																																															

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を体験シミュレーションデータとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
小児科学	2	カリキュラム・マップ アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式	1	定期試験：筆記試験(記述式)
	2	定期試験：筆記試験(多肢選択式)
	3	小テスト：筆記試験(記述式)
	4	小テスト：筆記試験(多肢選択式)
	5	口頭試験
	6	レポート
	7	成果発表
	8	質問紙法
	9	直接観察法(模型または実際の患者)
	10	OSCE
	11	監査(オーディット)
	12	ポートフォリオ
	13	自己評価
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載
		合計(100%)

I. プロフェッショナリズム														II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5															
医学倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	看入間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	解明に正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の理解に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することが出来る。	医療安全、感染症対策を実践できる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	問題解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身振りや振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	指導力及び協調性をもって、診療や保健指導の基礎を実践できる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的知識を有している。	医学的知見を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	地域医療の中で国際化に際する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動に国際的視野に立つて実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。											
E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E											

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目



札幌医科大学医学部医学科 コンピテンツ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験 シミュレーションソフト ターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
脳神経外科学	1	カリキュラム・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

評価形式	1	2	3	4	5
1 定期試験：筆記試験（記述式）					
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	95				
3 小テスト：筆記試験（記述式）					
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）					
5 口頭試験					
6 レポート					
7 成果発表					
8 質問紙法					
9 直接観察法（模型または実際の患者）					
10 OSCE					
11 監査（オーディット）					
12 ポートフォリオ					
13 自己評価					
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5				
合計（100%）	100				

② 評価形式毎の比重（a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目）

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5									
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	看人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	解明の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の理解に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	医療安全、感染症対策を実践でき。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	医療安全、感染症対策を実践でき。	災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者への配慮を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 フロイマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に際する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動に国際的視野に立つて実践する基礎的な能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
D	D	D	D	D	D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E						

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目



札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、シミュレーション・ランドスケープとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

スポーツ医学 1 カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5
1 定期試験：筆記試験（記述式）	20				
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	60				
3 小テスト：筆記試験（記述式）					
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	5				
5 口頭試験					
6 レポート					
7 成果発表					
8 質問紙法					
9 直接観察法（模型または実際の患者）					
10 OSCE					
11 監査（オーディット）					
12 ポートフォリオ					
13 自己評価					
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	15 (受講態度等)				
合計 (100%)	100				

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献							
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医学倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	看人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	解明の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の理解に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	医療安全、感染症対策を実践できる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3 指導力及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	5 人数を払って接する背景が多様であることを理解し、常に他者の人権を尊重し、社会的責任を担うことができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に際する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立つて実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学・疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
E	E	E	C	E	C	E	C	C	C	D	E	E	C	D	E	E	C	C	E	C	C	D	E	D	D	D	C	E	E	E	E	C	E	E	E	D	C	E	E	E	

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分

高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基礎となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

口腔外科学	0.5	カリキュラム・マップ	C	D	E	D	D	C	C	B	B	B	C	D	D	C	D	D	E	D	C	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E				
		アセスメント・マップ																																								
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																								
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																								
		評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)																									
		1	定期試験；筆記試験（記述式）	30																																						
		2	定期試験；筆記試験（多岐選択式）	60																																						
		3	小テスト；筆記試験（記述式）																																							
		4	小テスト；筆記試験（多岐選択式）																																							
		5	口頭試験																																							
		6	レポート																																							
		7	成果発表																																							
		8	質問紙法																																							
		9	直接観察法（模写または実際の患者）																																							
10	OSCE																																									
11	監査（オーディット）																																									
12	ポートフォリオ																																									
13	自己評価																																									
14	その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載→出席状況、授業態度	10																																								
	合計(100%)	100																																								

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション																																																											
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献																	
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる	医師の法的責任及び各種規範について説明できる	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の人体に説明に活用できる	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる	4規範に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる	5医療安全、感染症対策を実践できる	6災害時の医療について説明できる	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる	5問題解決と説明で課題を高めるために、生涯学習が重要である	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる	5患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に対する思いやりを示すことができる	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる	5個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる	4地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる	5地域医療における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる	2健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基盤的能力を身につけている	3国際活動に関与する役割を説明できる	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる																				

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンツ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験 シミュレーションドク ターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 修得・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 修得・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
衛生学	1	カリキュラム・マップ アセスメント・マップ

1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5										
c	B	C	B	A	C	B	B	D	C	B	E	D	D	C	B	E	C	B	B	B	C	E	E	E	E	B	B	B	B	D	B	C	C	E	C	B	A	B	A	B

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンツ・コンピテンシー																																																							
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5															
1 法的規範の根底にある倫理的原則を理解し、具体的状況に適用できる。						2 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。					3 最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。					4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。					5 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。					2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。					4 地域医療の中で国際化に対応する課題を説明し、価値観の多様性を尊重して医療の実践に配慮できる。					5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。																			
2 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出し、必要となる検査を選択し、結果を評価できる。						3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。					4 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。					5 問題を解決し、課題解決能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。					1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。					2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。					3 科学の思考に基づいた探究心を身につけている。					4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいて説明できる。					5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。					2 健康増進及び疾病予防の活動に国際的視野に立つて実践する基礎的能力を身につけている。					3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。				
3 人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。						4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。					1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。					2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。					3 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。					4 指導力及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。					5 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。					1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。					2 健康増進及び疾病予防の活動に国際的視野に立つて実践する基礎的能力を身につけている。					3 活動に活用できる。									
4 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。						5 解明に基いた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。					1 医療安全、感染症対策を実践できる。					2 最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。					3 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。					4 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。					5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。					2 健康増進及び疾病予防の活動に国際的視野に立つて実践する基礎的能力を身につけている。					3 活動に活用できる。														
5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。						1 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。					2 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。					3 問題を解決し、課題解決能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。					4 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。					5 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。					6 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。					1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。					2 健康増進及び疾病予防の活動に国際的視野に立つて実践する基礎的能力を身につけている。					3 活動に活用できる。									
6 人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。						2 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。					3 最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。					4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。					5 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。					6 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。					1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。					2 健康増進及び疾病予防の活動に国際的視野に立つて実践する基礎的能力を身につけている。					3 活動に活用できる。														

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1 定期試験：筆記試験 (記述式)	50	b		a	c			c	c		c	c	c	a		c	b	b	b	c					b	b	b	b		b	c	c		c	c	a	b	a	b	
2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)	40		b		a				c					c	a												b	c	c				c		a	b	a	b		
3 小テスト：筆記試験 (記述式)																																								
4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)																																								
5 口頭試験																																								
6 レポート																																								
7 成果発表																																								
8 質問紙法																																								
9 直接観察法 (模型または実際の患者)																																								
10 OSCE																																								
11 監査 (オーディット)																																								
12 ポートフォリオ																																								
13 自己評価																																								
14 その他 (授業内リフレクションシート)	10	c		c	c																																			
合計 (100%)	100																																							

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目



札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
社会医学実習	1	カリキュラム・マップ

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6						
		医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ、	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の指し導き及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他の指し導き及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他の指し導き及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し、国際交流に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際医療の発展に貢献する活動の視野に立つて実践する基礎的能力を身につけている。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。								
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B						
		<b>アセスメント・マップ</b>																																															
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)												② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																			
評価形式																																																	
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																																
2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）																																																
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																																
4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）																																																
5	口頭試験																																																
6	レポート	70	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a														
7	成果発表	20	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a														
8	質問紙法																																																
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																
10	OSCE																																																
11	監査（オーディット）																																																
12	ポートフォリオ																																																
13	自己評価																																																
14	その他（態度・積極性）	10	a				a																																										
	合計（100%）	100																																															

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目



札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学士として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学士として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学概論・医療総論4	0.5	カリキュラム・マップ
------------	-----	------------

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6						
カリキュラム・マップ	70	B	B	B	B	B	B	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	B	B	B	B	B	B	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D						
アセスメント・マップ		②評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																															
評価形式	1	a	a	a	a	a	a						a	a	a	a	a	a																															
	2																																																
	3	a	a	a	a	a	a						a	a	a	a	a	a																															
	4																																																
	5																																																
	6																																																
	7																																																
	8																																																
	9																																																
	10																																																
	11																																																
	12																																																
	13																																																
	14																																																
	合計 (100%)	100																																															
	目標とする平均点	70点																																															
	再試験の回数	0回																																															
	授業形態	対面授業科目																																															

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
PBL チュートリアル	0.5	カリキュラム・マップ アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	40	a a a a b c a
7 成果発表	30	a a a a b c a
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	30	a
合計（100%）	100	
目標とする平均点	75点	
再試験の回数	1回	
授業形態	対面授業科目	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に害を及ぼさない振る舞いをする。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ、病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	問題を解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要である。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の意見を尊重して接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	医学的知見を新機軸に含められていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	国際的な医療の発展に貢献する役割を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。		
D	D	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	D	B	E	C	E	B	B	B	B	C	E	E	E	E	C	E	C	E	C	E	E	E	E	E	E	D	D	D	E	E

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、チューレントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
応用医療情報科学	1	カリキュラム・マップ

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献													
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6																
B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	E	E	D	E	E	E	B	B	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	B	B	B	B	C	B	C	C	E	C	C	C	C	C	C													
<p style="text-align: center;"><b>②評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)</b></p>																																																									
評価形式	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6															
1	定期試験：筆記試験（記述式）																																																								
2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）	100	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a						
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																																								
4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）																																																								
5	口頭試験																																																								
6	レポート																																																								
7	成果発表																																																								
8	質問紙法																																																								
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																								
10	OSCE																																																								
11	監査（オーディット）																																																								
12	ポートフォリオ																																																								
13	自己評価																																																								
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																								
	合計（100%）	100																																																							
	目標とする平均点																																																								
	再試験の回数																																																								
	授業形態																																																								

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
地域医療合同セミナー4	0.5	カリキュラム・マップ
<b>アセスメント・マップ</b>		
① 評価形式ごとの評価割合 (%)		
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)		
評価形式	割合	比重
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	20	a
7 成果発表	50	a
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価	30	a
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	
目標とする平均点	90点	
再試験の回数	1回	
授業形態	対面授業科目	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献												
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
c	d	d	d	d	c	e	e	e	e	c	d	d	d	d	e	d	d	d	d	d	e	d	e	e	e	e	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d					

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
医療統計学2	1	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）	30
		5 口頭試験	
		6 レポート	70
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計（100%）	100		
目標とする平均点	75点		
再試験の回数	0回		
授業形態	対面授業科目		

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6						
		医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に害及を及ぼさない振る舞いをする。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態に説明し活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要である。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の立場を顧みることができ、適切な対応ができる。	5 医療に関する倫理や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の立場を顧みることができ、適切な対応ができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際的な視点に立つて実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。							



札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 試験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 試験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医療薬学	1	カリキュラム・マップ	C	C	D	D	E	C	C	C	C	C	D	D	D	D	C	D	D	D	D	D	D	D	D	D	E	C	D	E	D	D	E	E		
	アセスメント・マップ																																			
	① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																			
	評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）	20																																
		2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）	70																																
		3	小テスト：筆記試験（記述式）																																	
		4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）																																	
		5	口頭試験																																	
		6	レポート																																	
		7	成果発表																																	
		8	質問紙法																																	
		9	直接観察法（模型または実際の患者）																																	
		10	OSCE																																	
		11	監査（オーディット）																																	
	12	ポートフォリオ																																		
	13	自己評価																																		
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10																																	
		合計（100%）	100																																	
		目標とする平均点																																		75点
		再試験の回数																																	1回	
		授業形態																																	対面授業科目	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション																																															
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人に敬意を払って接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3ブライマリー・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。							







札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

麻酔・集中治療医学	2	カリキュラム・マップ
-----------	---	------------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えてい難い患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態に説明できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の促進を図ることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者の立場を考慮して接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際的な医療の動向を把握し、国際的視野に立って実践する基礎的知識を身に付けていく。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)      ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)
1 定期試験(筆記試験(記述式))															
2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))	90									a	b	c			
3 小テスト(筆記試験(記述式))															
4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法(模型または実際の患者)															
10 OSCE															
11 監査(オーディット)															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他(評価形式が「その他」の場合、内容を記載)															
合計(100%)	100														

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
形成外科学	1	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	90
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他（感想カード）	10		
合計（100%）	100		
目標とする平均点	70点		
再試験の回数	1回		
授業形態	対面授業科目		

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えてい難い患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決を説明し、生進学習が重要であることを理解し、自ら問題解決を説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者との価値観を尊重し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に関する知識を説明できる。	5 周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際的な医療の動向に関する知識を説明できる。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。		













札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

		I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																												
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																																									
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人に害を及ぼさない振る舞いをする。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要である。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の理解を促すことができる。	5	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2	科学的探求を遂行するための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいて説明できる。	3	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいて説明できる。	4	医学的知見を説明するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	5	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	地域社会における地域医療の位置付けについて説明できる。	2	社会経済における地域医療の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	3	国際交流に関わる国際協力の役割を説明できる。	4	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身に付けている。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	1	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	2	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	3	グローバル・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	5	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。

カリキュラム・マップ 区分

高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基礎となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
法医学・医事法	2.5	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)	
評価形式			
1	定期試験：筆記試験（記述式）	35	b a a a b c c c c c
2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）	35	b a a a b c c c c c
3	小テスト：筆記試験（記述式）		
4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）		
5	口頭試験		
6	レポート	20	b a a a b c c c c c
7	成果発表		
8	質問紙法		
9	直接観察法（模型または実際の患者）		
10	OSCE		
11	監査（オーディット）		
12	ポートフォリオ		
13	自己評価		
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10 出席状況	
	合計（100%）	100	
	目標とする平均点	75点	
	再試験の回数	1回	
	授業形態	対面授業科目	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
総合講義 1	1	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）	50
		5 口頭試験	
		6 レポート	30
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他（GW等における態度評価：ルーブリック）	20		
合計（100%）	100		
目標とする平均点	75点		
再試験の回数	1回		
授業形態	対面授業科目		

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与える影響及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の促進を図ることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の意見を傾聴して接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に関する知識を説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際的な視点に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
総合講義2	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)
		評価形式
		1 定期試験(筆記試験(記述式))
		2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))
		3 小テスト(筆記試験(記述式))
		4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))
		5 口頭試験
		6 レポート
		7 成果発表
		8 質問紙法
		9 直接観察法(模型または実際の患者)
10 OSCE		
11 監査(オーディット)		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計(100%)	100	
目標とする平均点	75点	
再試験の回数	1回	
授業形態	対面授業科目	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
D	D	D	D	D	D	A	A	A	A	D	A	A	A	A	A	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D